

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)枚方市岡南町 新築工事	階数	地上5階
建設地	大阪府枚方市岡南町271番他	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域 準防火	平均居住人員	232 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年10月1日
敷地面積	4,261 m ²	作成者	板東 弘幸
建築面積	1,886 m ²	確認日	2016年10月20日
延床面積	7,997 m ²	確認者	(株)日企設計 板東 弘幸

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、各種図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 閑静な住宅街の高台に位置する為、圧迫感の軽減を図る為、庇の形状や手摺の部材、色やタイルの質等、細やかなディテールにまで工夫した計画とし、外構にも植栽を多く設け街に溶け込むデザインとした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地周辺の既存樹を残したり、提供公園のしつらえに配慮した。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ T-2サッシや、L-45フローリング、サイレントボイド等、音環境に配慮。また温熱4、一次省エネ4を取得することにより温熱環境にも配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内装の多様化や維持管理に配慮した材質を使用し、また、劣化等級3を確保できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路から控えて計画し、そこに植栽や列柱を入れて景観、環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料系潜熱回収瞬間式給湯器であるエコジョーズなどを使いシステムの効率化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電を採用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光の反射を抑える為、ガラス手摺や金物を控えるデザインとし配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0108

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)枚方市岡南町 新築工事					
		建設地	大阪府枚方市岡南町271番他					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.2	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	5.0	4		
				住戸・宿泊	5.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.0			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								